

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身

印刷 内村印刷株式会社

- 県身体障害者連合会会長新年あいさつ……………①
- 「長崎がんばらんば大会」派遣選手成績表……………②
- ごみの行方は？(葉山町)……………③
- 綾瀬市身障協会の活動(綾瀬市)……………③
- 肢体部会研修会報告……………④
- 「障害者権利条約」講演会案内……………④
- 第9回県障害者スポーツ大会日程……………④
- さんぼみち(開成町)……………⑤
- みんなの広場(相模原市)……………⑤
- オストメイト(内部障がい者)にご理解を！……………⑥
- 県身連事業予定(1月～4月)……………⑥
- 編集室から……………⑥



《撮影場所：茅ヶ崎海岸》

神奈川県身体障害者連合会 会長 戸井田 愛子
といた あいこ

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。
 皆様におかれましては、お揃いでよいお正月をお迎
 えのことと存じます。

日ごろ、県身連の運営にあたりましては、皆様には
 ご支援ご協力をいただいておりますことに、心から感
 謝申し上げます。

さて、昨年一月、「障害者権利条約」の批准という
 大きな節目を迎え、障害者の権利の実現に向けた取組
 みが一層強化されるものと期待されます。障害者総合
 支援法や障害者虐待防止法の見直し、平成二十八年に
 施行される障害者差別解消法のガイドライン策定とい
 った重要な課題に対し、障害者や障害関係団体参加に
 よる十分な議論が進められなければなりません。また、
 一般社会に向けた法律の必要性及び障害者に対する差
 別や合理的配慮に関する理解を促進していくため、関
 係者との連携を強めながら行動してまいります。

県身連の運営につきましては、多くの課題を抱える
 中、役員一同で社会動向を踏まえながら適切に推進す
 るよう、関係機関のご協力をいただきながら努力して
 まいりますので、地域団体の皆様の一層のご協力をお
 願いたします。

終わりに皆様の益々のご発展とご多幸を
 お祈りいたしまして新年のごあいさつとい
 たします。

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」成績表

《神奈川県選手団》

身体障害者個人競技選手（8名）

氏名	種目	記録	順位
相原みどり (二宮)	50m走	33秒59	1位
	ソフトボール投	6m74cm	1位
鈴木百萌子 (厚木)	ソフトボール投	11m56cm	1位
	100m走	28秒87	2位
戸部千夏 (伊勢原)	100m走	20秒79	1位
	立幅跳	1m62cm	1位
徳永美貴 (平塚)	ソフトボール投	50m29cm	2位
	立幅跳	1m99cm	2位
松竹勇 (伊勢原)	アーチェリー リカーブ50m・30mラウンド	558点	2位
八鍬藤雄 (海老名)	卓球	1勝1敗	2位
落合三千男 (大和)	STT	1勝1敗	2位
野口英二 (伊勢原)	アキュラシー5m	7投	4位
	ディスタンス	37m81cm	2位

聴覚バレーボール女子チーム

1回戦	神奈川県	2-0	長崎県
準決勝	神奈川県	2-0	広島市
決勝	神奈川県	0-2	大阪市

知的障害者個人競技選手（6名）

氏名	種目	記録	順位
伊藤敦史 (平塚)	走幅跳	5m45cm	2位
	100m走	12秒56	4位
田中義信 (秦野)	ソフトボール投	77m09cm	1位
	100m走	12秒54	4位
高木麻乃 (小田原)	800m走	2分57秒57	2位
	400m走	1分14秒87	3位
石川祐奈 (座間)	100m走	14秒58	2位
	200m走	30秒48	1位
井上雄輔 (横須賀)	卓球	2勝0敗	1位
山口遼 (厚木)	アキュラシー5m	4投	7位
	ディスタンス	31m41cm	4位
陸上 4×100mリレー		53秒53	5位

メダル獲得数（団体競技含む）

金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
8個	11個	1個	20個

《相模原市選手団》

身体障害者個人競技選手（8名）

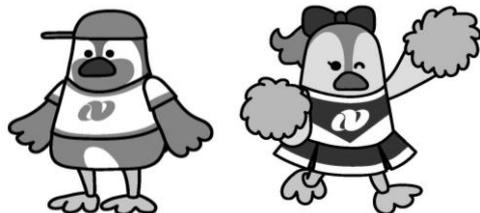
氏名	種目	記録	順位
細野海	100m走	12秒36	3位
	200m走	25秒02	3位
関田慎次郎	100m走	15秒61	3位
	走幅跳	3m98cm	1位
福島純平	50m自由形	1分08秒80	2位
	50m平泳ぎ	1分38秒57	2位
奥山浩	25m平泳ぎ	32秒01	2位
	25mバタフライ	27秒96	1位
群馬叶恵	STT	2勝1敗	2位
星サダ子	卓球	0勝3敗	4位
吉原キミ子	アキュラシー5m	10投	1位
	ディスタンス	31m59cm	3位
高橋彰	アキュラシー7m	4投	3位
	ディスタンス	33m66cm	2位

知的障害者個人競技選手（8名）

氏名	種目	記録	順位
佐々木賢汰	ソフトボール投	67m14cm	4位
	ジャベリックスロー	30m13cm	5位
金巻朋典	100m走	13秒39	8位
	200m走	28秒00	8位
金沢健斗	50m走	7秒71	8位
	200m走	31秒26	7位
石川明佳	立幅跳	1m41cm	6位
	50m走	10秒34	7位
尾崎麻衣	ソフトボール投	36m60cm	3位
	100m走	18秒66	8位
佐藤友愉	50m平泳ぎ	37秒36	3位
	25m平泳ぎ	17秒19	3位
井上知奈美	25m背泳ぎ	23秒69	4位
	25m自由形	18秒55	4位
後藤真人	卓球	1勝2敗	3位
陸上 4×100mリレー		—	—

メダル獲得数

金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
3個	5個	9個	17個



大会愛称：長崎がんばらんば大会
 大会スローガン：君の夢 はばたけ今 ながさきから
 大会マスコット：がんばくん・らんばちゃん

「みみ」の行方は?

葉山町 守屋 巨弘

葉山町では、去る六月から町内全域一斉に「戸別収集」(各家庭一軒ずつごみを収集する)方式に変更しました。

これは主に可燃ごみの中の、資源化可能な古新聞紙等を除き、燃やすごみを減らすというものです。つまり今までより可燃ごみの「減量化・資源化」を推進する方式です。

葉山町は一トン当たりのゴミ処理経費、あるいは人口一人当たりのゴミ処理経費でも神奈川県下でワースト一、二位クラスで、長い間その解決に苦しんできています。

私の記憶では、藤沢市は平成二〇年ごろ、この戸別収集方式と「ごみ収集有料化」を同時に実施しました。ごみ有料化では、近い将来に鎌倉市、逗子市も移行するようです。



みなさんは古ダンボール紙や古新聞紙等が現時点では“立派な輸出商品”になっていることをご存知ですか?主にアジア地区、例えばタイやベトナム方面にも輸出されています。文字通り、一度だけの使用ではなく、何回かリサイクルされるということなのです。

かつての高度成長時代のようにな「大量生産・大量消費・大量廃棄」の生活様式のころから、今や「リデュース」(発生抑制)・「リユース」(再利用)・「リサイクル」(再資源化)の考えが主流となりました。

みなさんもごみ出しする時は、十分留意されておられることでしょうか。

ところで、みなさんはご自分の住んでおられる市町村のごみ一トン当たりの処理経費、一人当たりの処理経費、リサイクル率(資源化率とも表現)の県下での順位をご存知ですか?

(お役所のごみ担当部署に問い合わせてみてください)

綾瀬市身障協会の活動

綾瀬市 西川 和朗

今年度の綾瀬市身障協会は、九月に大きな行事が集中してしまいました。無事に執り行うことが出来て私もホッとしております。

まず、七日には「第五十九回神奈川県身体障害者福祉大会」が、綾瀬市文化会館で行われました。当番市として、当協会会員七十二名とボランティアの方々を合わせて約一〇〇名で皆様をお迎えしました。アトラクションでは、全国大会で優勝したことのある市内中学校の生徒約四十人によるマーチングバンドの演奏などもあり、盛大に滞りなく行えました。これは、県身障連の皆様や多くの協力を頂いた皆様の御陰と感謝しております。

また、二十四日には当協会の年中行事である「バス旅行」が行われました。六月に圏央道が開通して身近になった山梨へブドウ狩りに借り上げリフトバスと市のバスの二台で五十二名の参加で行ってきました。もぎたてのブドウや名物のほうとう鍋に舌鼓を打ったり、ワイン工場や山梨の宝石・水晶のお店を見学したりと楽しい一日を過ごす



ことができましました。参加者全員、早くも来年のバス旅行を楽しみにしているようでした。さらに二十八日には、綾瀬市社会福祉表彰式が行われ、当協会は昨年創立五〇周年を迎え、永年にわたる地域福祉活動への功績が認められ、市から表彰状を授与されました。

当協会でも多くの会員は、高齢化で行事に参加しにくい状況になって来ております。しかし、外に出ることが健康の第一歩ということもあり、移動(送迎など)の手段も考えていかねばならないと、役員も共通課題として検討をしています。そして、楽しい行事を企画することでも一人でも多くの会員に参加してもらうことも

合わせて考えており、これからも一人ひとりの会員の顔が見えるよう努力して行きたいと思っております。

肢体部会

研修会報告

藤沢市 種田多化子
たねだたかこ

事業案内・報告

平成二十六年十一月二十一日、肢体部会研修会「駐車場問題とパーキングパーミット制度」が伊豆高原潮風館で開催されました。福島から双葉郡身体障害者福祉会会長の半谷克弘様が四百km走行して来て下さり、片手でpcを操作しマイクを持ち講演して下さいました。

①健全者の利用を制限する法的根拠がない為利用者対象者の認定が必要である。②障がい者と健全者の区別ができない為識別の標章の発行が必要である。③一企業が対応できるテーパーではない為行政のバックアップが必要である。行政の責務を求めたパーキングパーミット制度の解釈は車いす駐車場の適正利用を図る上で必要不可欠な利用者の認定の制度で利用証は

整理券であり譲り合いは必要です。

障害者権利条約批准に伴う条例の見直し時期であり、三十一府県で導入されている、制度を取り入れていない自治体とそうでない自治体でモラルが違う現状もあり、東京パラリンピック開催が決定されている今全国的に取り進む課題であると力説されていました。そして、福島県の「おもいやり駐車場利用制度」のチラシをいただき具体的な質問があがっていました。神奈川県でもパーキングパーミット制度を要望していくべきであると考えます。



「障害者権利条約」講演会

神奈川県障害者社会参加推進センターでは、障害者権利条約に関する差別の実態と合理的配慮について、次のとおり講演会を開催します。

この機会に合理的配慮について、一緒に考えてみませんか！

- 日時 平成二十七年二月十八日(水)
- 会場 厚木市文化会館 四階 集会室
- 内容 「講演」

障害者権利条約と合理的配慮とは、「シンポジウム」

「差別の実態と合理的(求められる)配慮について一緒に考えよう」
コーディネーター
日本障害フオーラム
政策委員長 森 祐司氏

シンポジスト
身体・知的・精神障害者及び関係者 六名

- 対象者 神奈川県内在住の方
- 定員 一五〇名
- 参加費 無料

●申込先 平成二十七年一月末日までに推進センター事務局へご連絡ください。

●連絡先
障害者社会参加推進センター事務局
TEL 〇四五―三一―一八七四四
FAX 〇四五―三一―六一六八六〇

第九回県障害者スポーツ大会日程

平成二十七年年度の県障害者スポーツ大会は、次の日程で開催を予定しています。
参加申込等については、お住まいの市町村障害福祉担当課までお願いします。

●ボウリング競技会(知的障害者)
期日 四月五日(日)
会場 湘南とうきゅうボウル
申込 三月二日(月)まで

●アーチェリー競技会(身体障害者)
期日 四月五日(日)
会場 県総合リハビリセンター
申込 三月二日(月)まで

●フラインクテニス競技会
期日 四月十九日(日)
会場 秦野市中央公園陸上競技場
申込 三月二日(月)まで

●陸上競技会(身体障害者)
期日 五月十日(日)
会場 県立体育センター
申込 三月九日(月)まで

●陸上競技会(知的障害者)
期日 五月十七日(日)
会場 県立体育センター
申込 三月十六日(月)まで

●水泳競技会
期日 七月五日(日)
会場 さがみはらグリーンプール
申込 五月二十五日(月)まで

●卓球・サウンドテーブルテニス競技会
期日 七月十二日(日)
会場 寒川総合体育館
申込 六月一日(月)まで

さんぼみち

開成町で流行っている

「カーレット」

開成町 遠藤 伸一

今年の二月の「ソチ冬季オリンピック」で日本チームの「カーリング」を楽しまれた方も多しと思うが、その卓上版である「カーレット」をご存知でしょうか。来年の三月の全日本大会は十回目を数えるほど、全国的に行われている、日本で生まれたスポーツである。

今、私の住む街、開成町でその「カーレット」がかなり流行っている。よく会議室等にある長机を縦に二つ並べて、その上にカーリングと同じように奥の方に平面的に描かれているシートを敷くことでコートは出来る。カーリングのストレーンにあたるものは片手で掴める程でミニチュアみたいなもの。車椅子に乗っている私でもそのままストーンを投げる事ができるのだ。開成町では子どもから若い人も老人クラブの方までも爆発的に愛好者が増えている。

平成二十六年十一月十五日には、「カーレット神奈川西湘クラブ」の皆様の指導で、「開成町身体

障害者福祉協会」と「開成町心身障害児者と家族の会かるがも」の合同体験会を開催、約二十名が参加した。

始めは変な方向に行ったり、うまく滑らなかつたりしていたが、三、四回練習しているうちに、思わずナイスショットが出たり、力任せにストーンをいっぺんに蹴散らしたりしてその度に歓声が上がっていた。視覚障害者の方も方向を少し教えてもらって一緒に楽しんでいました。最後には試合を行い、スポーツとしての快感や良い汗をかくことができた。

来年の二月七日には「第二回開成町カーレットオープン大会」が開催される。ご興味のある方はぜひ見に来てください。



みんなの広場

お医者様の言う事は

聞かなきゃダメよ

相模原市 八代 義男

これは反省文です。四十歳代から、夜間どうもおかしいな、つまずいたり、みんなより歩くのが遅くなったり、夜盲症なのかと思うようになりました。

五十歳代になって、はじめて白杖を持つようになりました。会社の仕事もできなくなりましたが、なんと六十歳まで会社においていただきました。退職してから生活訓練のため、厚木市七沢にあるライトホームに入所し、生活訓練を受けました。

これからは今まで経験したことがないことをしようと思いい、ゴルフ、カヌー、ヨット、スキーを体験することにしました。スキーは、ライトセンターの初心者コースでした。平成十七年二回目とき、転倒して頸椎捻挫してしまいました。整形外科の先生に安静にしていなさいと言われましたが、スポーツジムで自転車こぎは頸椎に負担にならないだろうと安易な気持ちで続けていました。ところが、左

足のつま先が挙がりにくくなり、つまずいたりするようになり、腓骨神経麻痺の診断です。今も左足は歩きにくく、頸椎には違和感があります。

頸椎捻挫してからは、サウンドテーブルテニス(盲人卓球)、ゴルフ、カヌーもやめました。自転車こぎはリハビリのつもりで続けています。

今年の県身連福祉大会体験発表で、体操の練習中転落して車いす生活になりながらがんばっている話を思い出し、私はこれくらいですんでよかったと思うことにしています。改めてお医者様の言うことはしっかり守らなければいけないと反省しています。

お詫びと訂正

身障かながわ一二八号の記事に誤りがありましたので、次のとおり訂正いたしますとともにお詫び申し上げます。
ページ 県福祉大会報告
神奈川県知事表彰
○自立更生者
はせがわこうき
長谷川幸作(厚木市)

県身連事業予定

- 〈1月〉
- 20日(火) 身障かながわ編集委員会
(県社会福祉会館)
- 21日(水) 社会参加推進センタースポーツ部会研修会
茅ヶ崎市総合体育館
- 30日(金) 肢体部会女性部教養講座及び部長会議
(藤沢市民会館)
- 〈2月〉
- 5日(木) 社会参加推進センタースポーツ部会研修会
大和スポーツセンター
- 8日(日) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会①
(県立体育センター)
- 14日(土) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会②
(県立体育センター)
- 18日(水) 「障害者権利条約」講演会
(厚木市文化会館)
- 21日(土) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会③
(県立体育センター)
- 26日(木) 肢体部会役員会
(県社会福祉会館)
- 〈3月〉
- 12日(木) 肢体部会代議員会
(県社会福祉会館)
- 15日(日) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会④
(県立体育センター)
- 18日(水) 社会参加推進協議会
(県社会福祉会館)
- 中旬 県身連理事会
(県社会福祉会館)
- 下旬 県身連評議員会
(県社会福祉会館)
- 〈4月〉
- 5日(日) 県障害者スポーツ大会(身体)[7-チェリ]
(県総合リハビリテーションセンター)
- 5日(日) 県障害者スポーツ大会(知的)[ボウリング]
(湘南とうきゅうボウル)
- 12日(日) 県身体障害者ボウリング大会(身体)
(湘南とうきゅうボウル)
- 19日(日) 県障害者スポーツ大会[F D]
(秦野市中央運動公園陸上競技場)
- 26日(日) 知的サッカー関東地区予選会
(会場未定)
- 下旬 肢体部会監事監査
(県社会福祉会館)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
045-311-8744
[推進センター]
FAX：045-316-6860
http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa_sinsho

オストメイト

(内部障がい者)にご理解を!



公益社団法人

日本オストミー協会神奈川支部

事務局長

須田紗代子

平塚福祉フェスティバルで、「オストメイトってご存知ですか?」のアンケートをしました。親子連れや学生さんたちは、ほとんどご存知なく啓蒙啓発不足を実感しました。オストメイトとは、病気や事故により、大腸

や直腸、膀胱などの手術でお腹に排泄口(ストーマ)【人工肛門・人工膀胱】を造設した人のことを言います。ストーマとは、ギリシヤ語で「口」という意味です。オストメイトは、腹壁のストーマでは排泄のコントロールが出来ないため、尿や便をためる袋(パウチ)を装着しています。パウチは完全密閉されているので、パウチを適切に装着していれば、排便等は漏れることはありません。しかし、全国的に入浴拒否問題が発生しています。神奈川県でも「一般客からクレームがあると断るしかない」と、ある施設では入浴拒否

されました。また、外出先では、トイレの利用でも外見では障がい者とはわからないので、なかなか利用しづらいやな思いをすることもあります。お腹にパウチを装着していることで、排泄処理や装具交換のために、装具を置く設備のある障害者用トイレを利用するのですが、トイレから出ると白い目で見られたりします。入浴拒否や多目的トイレでのいやな思いを活動を通じていきたいと思えますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

編集室から

新しい年を迎え、心よりお慶びを申し上げます。

本年度も引き続き身障かながわの編集委員となり、身体障害者協会の様々な活動や、市町村の行事など、県身連のスポーツや年間行事、事業予定なども載せております。

平成二十六年四月一日からは、身体障害者手帳の認定基準も変わりました。

障害者に対する等級の変更や、会員の皆様のお役に立つ情報、行事など、事務局を通して会員の皆様からの原稿を頂戴し、更に伝達して行きたいと思っております。編集委員の皆様、会員の皆様、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

編集委員

開沼クミ子(厚木市)

